

理事会議事録

令和5年12月19日午後6時13分から、当法人の主たる事務所において、理事3名（総理時数3名）のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、午後5時46分に解会した。

- (1) 第2期の振り返り及び第3期事業計画策定
- (2) 3か年計画確認

(1) 第2期の振り返り

理事熊野より：

1年前から考えると、大きな変化があった。

第2期スタート時点では、週3開室だったが、第2期第2四半期（1月より）週5稼働に成長した。それに合わせて運営体制も変更したが、第2期第3四半期は運営チームの立て直しに時間を割いた。それを乗り越え、第2期第4四半期に向けて、新体制で安定した稼働を確保できるようになった。学生や大人のボランティアの活用が、1年間で進んだ。

関わってきた子どもたちの中で、理念の実現となる自分で考え自分で次のステップに踏み出すという事例が数件出てきた。同時に、保護者、特に母親の前向きな変化を確認することもできた。業績的には赤字だが、黒字化に向けた成長は見せているので、第3期に向けて更なる発展を目指す。助成金勉強会の活動において、ビリーバーズ以外の居場所事業に取り組む人とのつながりが多い増えた。

ビリーバーズ板橋稼働に向けた事業をスタートできたことは大変良かった。

助成金の実績を2件作ることができた。

反省点としては、時間配分がビリーバーズ広尾の立て直しに時間を費やすことに多くの時間を割いたことで、一般社団法人ビリーバーズとして本来やるべきことに取り組むことができなかった。

理事蔵本より：

理事兼事務局として、本来法人運営に時間を割いて、中長期的な計画を立てられるような業務内容に取り組めたらよかったが、この1年は当法人の最初のリアルな居場所であるビリーバーズ広尾の安定稼働のための運営サポートにほとんどの時間を費やすこととなった。ただ、上記にあるように、ビリーバーズ広尾の新体制や安定稼働が実現してきたことにより、第3期では法人運営に重点を置いて業務を行えるような体制を作っていくよう取り組む。

助成金勉強会を通して、プロジェクトの進め方や、他団体との共同事業などを作っていく経験ができたので、一般社団法人ビリーバーズの他団体サポート事業の収益化に向けた取り組みも今後検討していけそうである。

理事和田より：

ビリーバーズ広尾の稼働日数を週5日にできた功績が大きい。

子どもたちの参加できる機会が増えたと感じている。

ボランティア採用の手続きまでしか行えなかったが、その後実際に採用されて、ボランティアが活躍していることがうれしい。他団体とのコラボなど、可能性の広がりを感じる。

ビリーバーズ板橋立ち上げもビリーバーズ広尾の実績があってこそその幸先が良いスタートになっている。

第3期に向けての課題と対策

《一般社団法人ビリーバーズ》

課題)

ビリーバーズ〇〇（3拠点目以降）などのサポートに対して、キックオフミーティングや助成金勉強会に加え、もう一段階具体的な提供価値を生み出したいが、具体策に及んでいない。

対策)

中長期計画を立てて、必要な時期に、必要な取り組みをしっかりと行っていく。

課題) 一般社団法人ビリーバーズのブランディングが不十分なため、当団体に関わっている人ですら、組織体系を把握しづらい状況が続いている。

対策)

組織図の作成など、見える化を進めるとともに、当団体のホームページ作成など、スッキリ説明できる媒体を整えていく。

課題)

一般社団法人ビリーバーズ＝ビリーバーズ広尾というイメージが強すぎる。

対策)

居場所事業以外の活動に対しての広報活動にも力を入れる。

《ビリーバーズ広尾》

課題)

子どもの受け入れの数を増やさないと持続可能な事業にならないので、現在の雰囲気担保しながら、成長させる。

対策)

ブランディング、広報活動を充実させる取り組みを行う。学校、行政、地域等の連携強化を図る。

課題)

子どもの受け入れを増やすためのスタッフ、ボランティアの人材確保及び育成が必要充実。

対策)

ブランディングをしっかりと、関わる人にとって、有益な場所だと感じられる環境づくりを強化していく。スタッフ研修や対話の場などをさらに充実させていく。

課題)

保護者への寄付金の呼びかけがほぼ行えていない。

対策)

ビリーバーズ広尾の社会的価値を伝えることに力を入れて、保護者がビリーバーズ広尾が持続可能になることへの力添えをしやすくなる環境を整える。

課題)

スタッフの充実と継続な関わりが質向上につながっていくので、その点についての広報が足りていない。

対策)

スタッフ研修等の活動に関して広報していく。

《ビリーバーズ板橋》

課題)

スタートダッシュに失敗しないように、できること全てにしっかりと取り組む必要がある。

対策)

こまめな状況共有を行い、リーダーに負担がかかりすぎたり、やるべき業務が滞ったまま放置されるようなことが起こらないチーム作りに取り組む。

(2) 3か年計画確認

次回の理事会までに、取り掛かる。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席理事の全員がこれに記名押印する。

令和5年9月19日

一般社団法人ビリーバーズ理事会

代表理事

熊野英

理事

和田 恭代

理事

蔵本 菜紀